

平成25年7月10日

各 位

会 社 名 ケ ネ デ ィ ク ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 島 大 祐  
(コード番号:4321 東証一部)  
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 田 島 正 彦  
電 話 番 号 (03) 3519-2530

### **連結子会社の債務引受と債務免除に関するお知らせ**

当社は、平成25年7月10日付取締役会において、連結子会社であるケネディクス・アセット・マネジメント株式会社(以下、「KDAM」)から債務引受を行うこと及びKDAMの当社に対する債務を免除すること(以下、債務引受と債務免除を併せて「本件債務引受等」と言います)を決定しましたので、お知らせします。

#### 記

##### 1. 本件債務引受等の概要

当社グループは、平成25年7月10日付「組織再編及び情報提供等に関する基本合意書締結等に関するお知らせ」の通り、アセットマネジメント事業の強化等を目的とした、組織再編(以下「本件再編」)に関する取組みを行っています。本件再編に関する取組みの一環として、(1)KDAMの取引金融機関に対する金融債務計117億円について当社が免責的に債務引受を行い、(2)KDAMに対する当社貸付債権12億円について債務免除を行うものです。

##### 2. 本件債務引受等の理由

KDAMは、平成21年10月に当社グループのアセットマネジメント業務監理、財務戦略等のサポート、並びに資金調達機能を担うことを目的として設立された100%子会社です。リーマンショック後の不動産市況低迷期には取引先金融機関から資金を調達する等の活動をしましたが、その後の不動産市況を含む経済環境の好転、当社グループの財務体質の大幅な改善により、資金調達主体としての役割が低下しました。また、アセットマネジメント事業については本件再編によって集約化を進めることとなり、監理業務の必要性が相対的に低下することになりました。このように、KDAM設立の所期の目的が達成される一方、KDAMは本件再編の一環としてケネディクス・アドバイザーズ株式会社(以下「KDA」)に吸収合併され消滅する予定(同日付でKDAはケネディクス・レジデンシャル・パートナーズ株式会社に吸収合併される予定)であることから、当社が、本件債務引受等によりKDAMが取引金融機関から調達した金融債務を引き受けると共に、KDAMに対する貸付債権を免除するものです。

3. 対象債務(平成25年6月30日現在)

(1) 債務引受

債務者: ケネディクス・アセット・マネジメント株式会社  
債権者: 株式会社三井住友銀行  
債務引受人: ケネディクス株式会社  
金融債務総額: 117億円

(2) 債務免除

債務者: ケネディクス・アセット・マネジメント株式会社  
債権者: ケネディクス株式会社  
債権額: 12億円

(3) 債務合計 129億円

4. 日程

取締役会決議日: 平成25年7月10日  
本件債務引受等実行日: 平成25年7月30日(予定)

5. 業績に与える影響

(1) 連結業績予想に与える影響

本件債務引受等による平成25年12月期連結業績予想に変更はありません。

(2) 当社決算に与える影響

本件による平成25年12月期単体決算において、債務引受損失等約129億円を特別損失として計上しますが、連結決算上内部消去されるため、連結決算に影響はありません\*。

\*平成21年12月に、当社が保有するケネディクス・アドバイザーズ株式会社及びケネディクス・オフィス・パートナーズ株式会社の株式をKDAMに譲渡し、当社の平成21年12月期単体決算において株式譲渡益13,621百万円を特別利益として計上した際も、本件債務引受等と同様に連結決算上内部消去されたため連結決算に影響は与えていません。

「3.対象債務（平成25年6月30日現在）」に記載されているKDAMの債務合計129億円は、KDAMがこれらの株式を取得する際、取得資金として借入れたのち、平成24年7月に借換をした債務の残高です。

以上